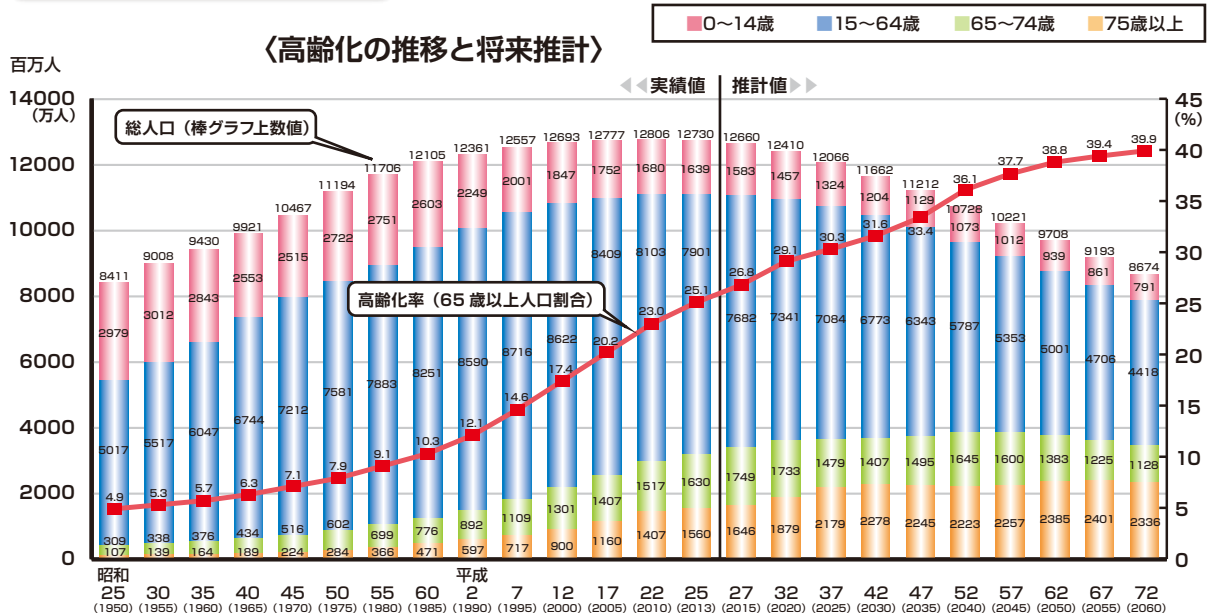


放課後等の教育支援の在り方に関する資料 データ集

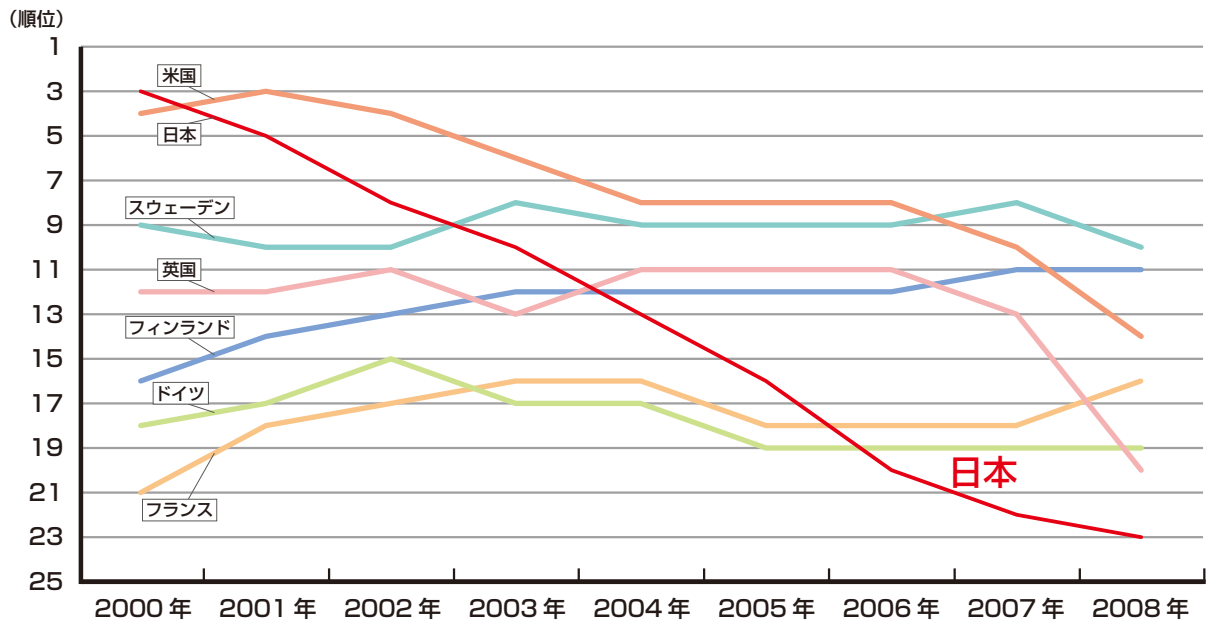
高齢化の推移と将来推計	46
一人当たり GDP の順位の推移	
正規・非正規の推移	47
親の収入別進学率	
世帯構成別割合	48
児童のいる世帯及び平均児童数の年次推移	
15歳未満人口推計	49
共働き世帯数の推移	
学校規模の現状について	50
不登校児童生徒の割合の推移（1,000人当たりの不登校児童生徒数）	
特別支援教育の現状①～特別支援教育の対象の概念図（義務教育段階）～	51
特別支援学校の在籍者数	
特別支援学級在籍者数の推移	52
通級による指導を受けている児童生徒数の推移（公立小・中学校合計）	
要保護及び準要保護児童生徒数の推移	53
公立学校に在籍している外国人児童生徒数	
日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数	54
日本語指導が必要な外国人児童生徒数	
要保護児童の増加	55
学校内における暴力行為発生率の推移（1,000人当たりの暴力行為発生件数）	
中高生の放課後について①	56
中高生の放課後について②	
中高生の放課後について③	57
小・中高生の放課後について④	
小・中高生の放課後について⑤-1	58
小・中高生の放課後について⑤-2	
児童生徒の土曜日の過ごし方について①	59
児童生徒の土曜日の過ごし方について②	
児童生徒の土曜日の過ごし方について③	60
児童生徒の土曜日の過ごし方について④	

少子化・高齢化の進展



グローバル化の進展

〈一人当たりGDPの順位の推移〉

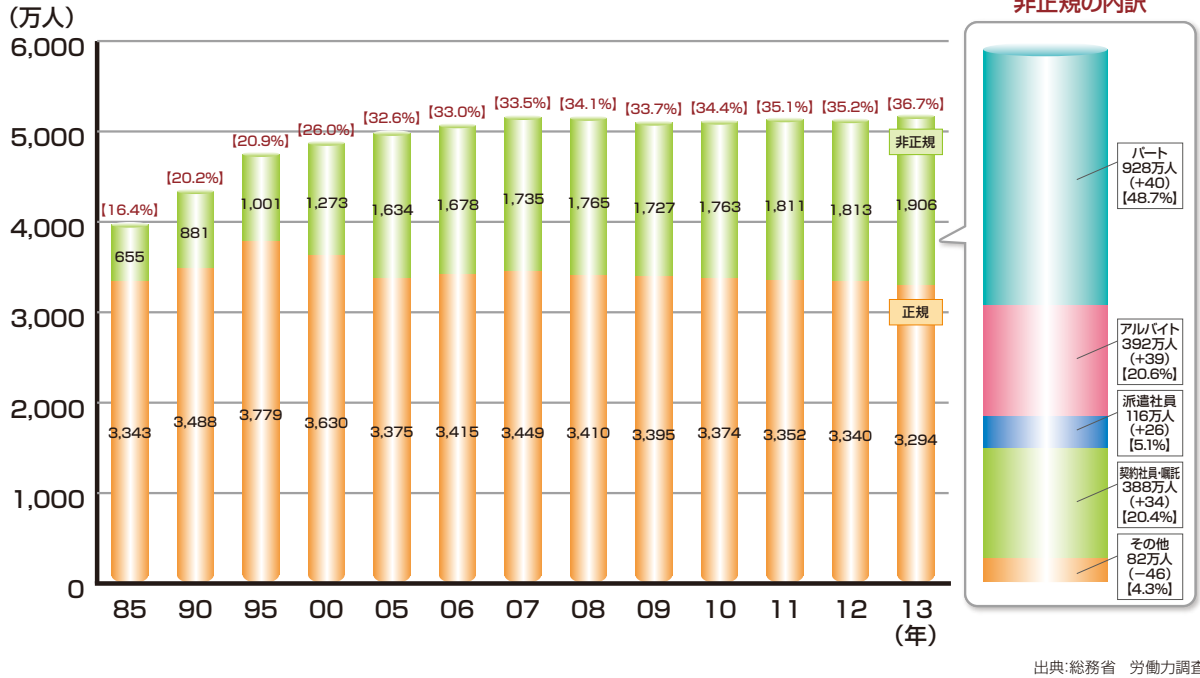


I - 1 社会の動向

* 2

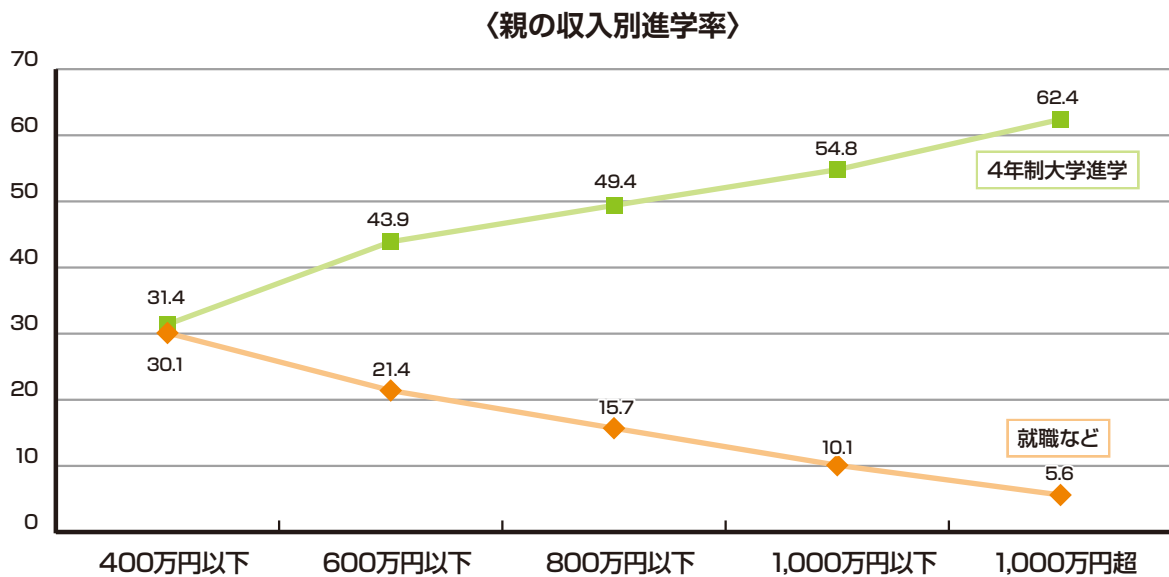
< 経済財政諮問会議での下村文科大臣資料 (H25.5.20, 抄) >
* 一部時点修正あり

正規・非正規の推移



I - 1 社会の動向

格差の再生産・固定化

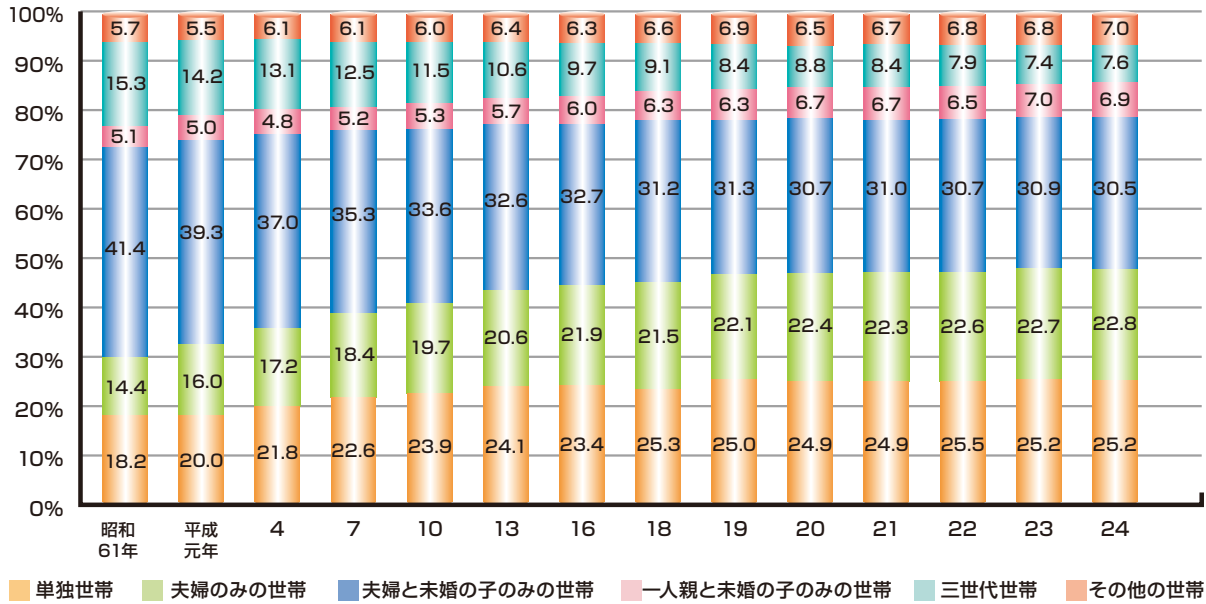


出典: 東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター「高校生の進路追跡調査第一次報告書」(2007年9月)

I-1 社会の動向

*3

世帯構成別割合

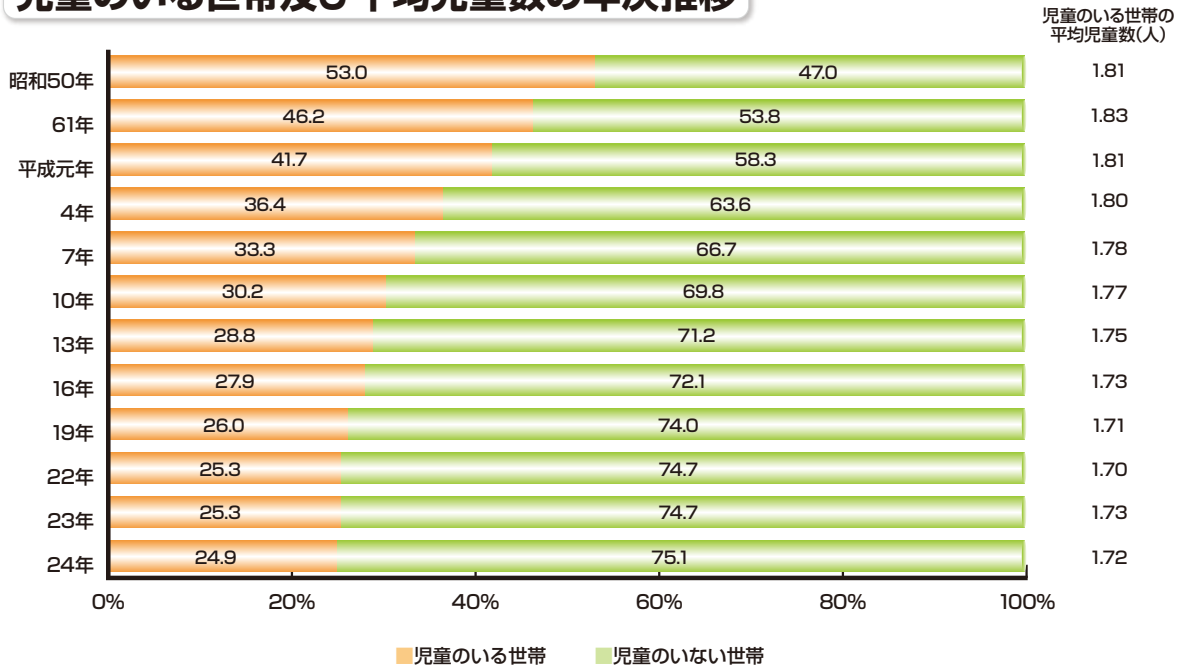


厚生労働省：平成24年国民生活基礎調査の概況

I-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*4

児童のいる世帯及び平均児童数の年次推移

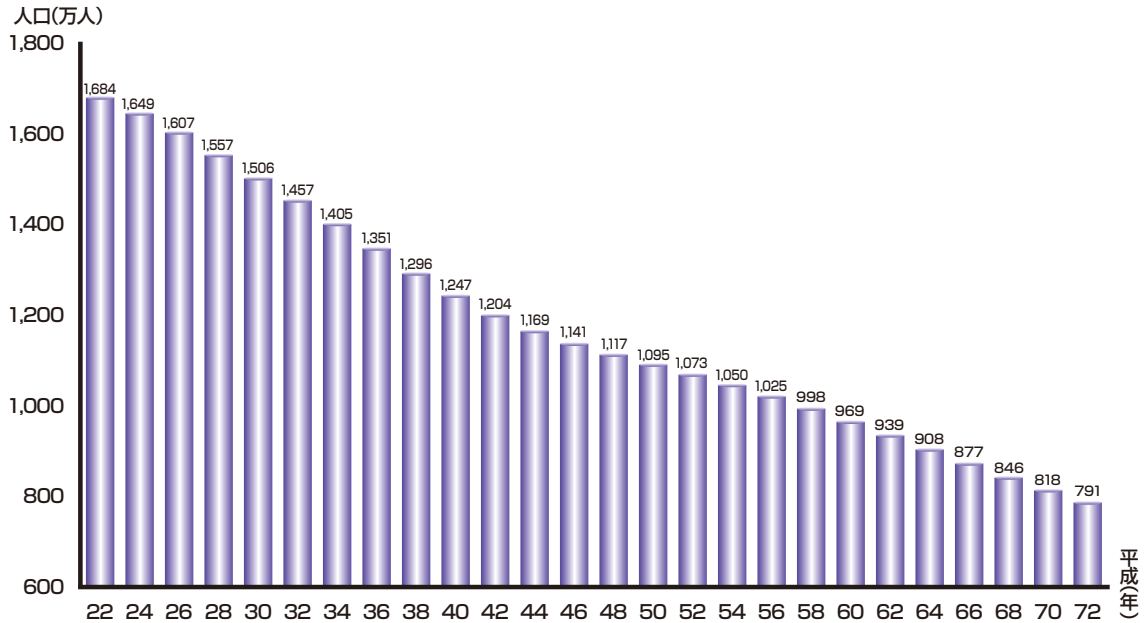


厚生労働省：平成24年国民生活基礎調査の概況

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*5

15歳未満人口推計

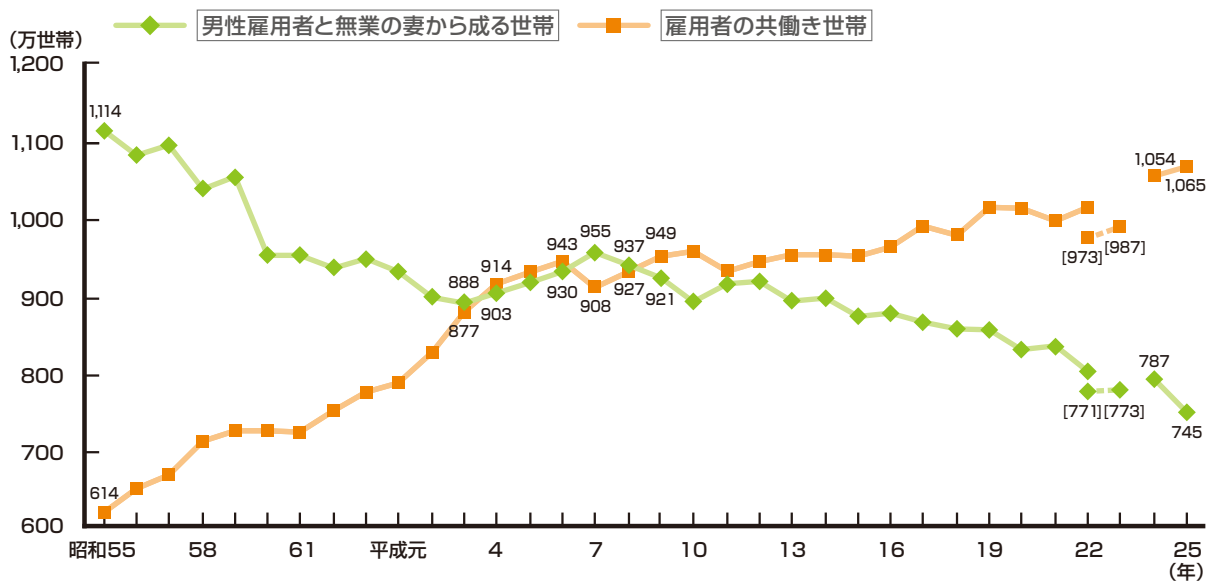


国立社会保障・人口問題研究所:日本の将来推計人口(平成24年1月推計)
死亡中位・出生中位仮定

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*6

共働き世帯数の推移



1980年～2001年は総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月、ただし、1980年～1982年は各年3月)
2002年以降は「労働力調査(詳細集計)」(年平均)より作成。
2010年及び2011年の[]内の実数は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

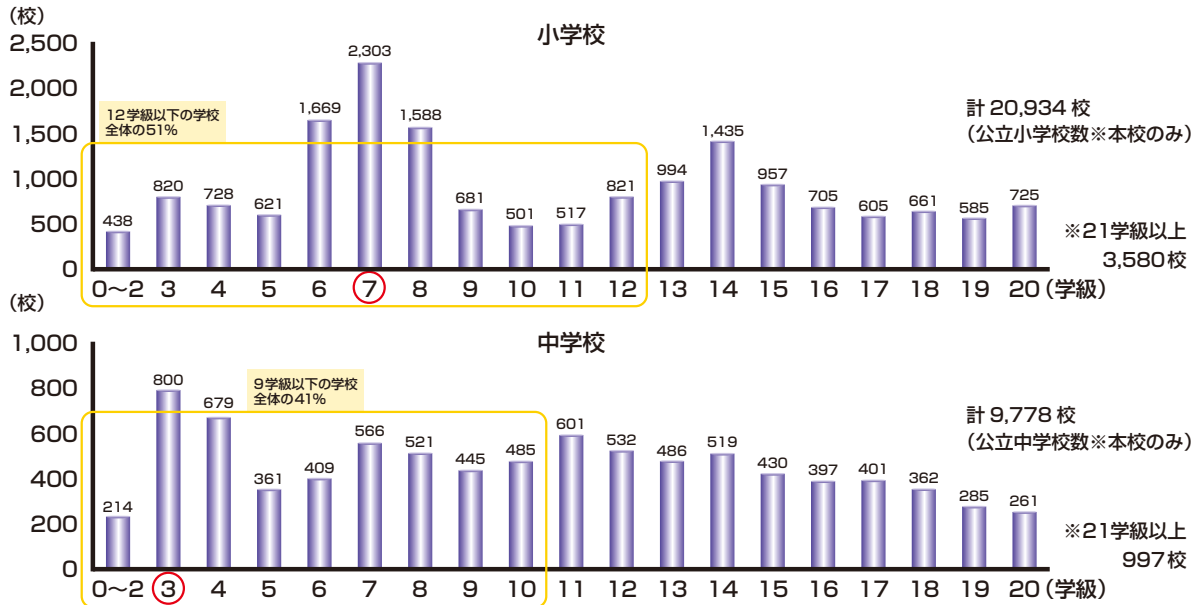
内閣府:男女共同参画白書 平成26年度版

1 - 2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*7

学校規模の現状について

◆公立学校の学校規模（平成24年度）

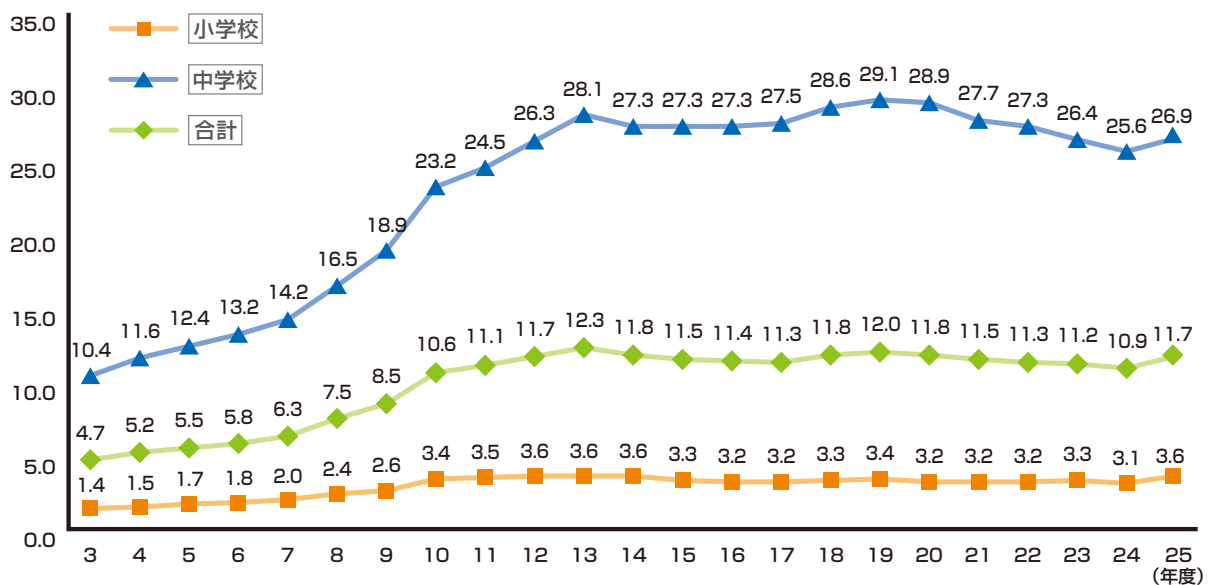


出典：平成25年度「学校基本調査」より

1 - 2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

不登校児童生徒の割合の推移(1,000人当たりの不登校児童生徒数)



(注)調査対象:国公立小・中学校(平成18年度より中学校には中等教育学校前期課程を含む)

出典:平成25年度 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査について

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

特別支援教育の現状① ～特別支援教育の対象の概念図(義務教育段階)～

義務教育段階の全児童生徒数 1030万人

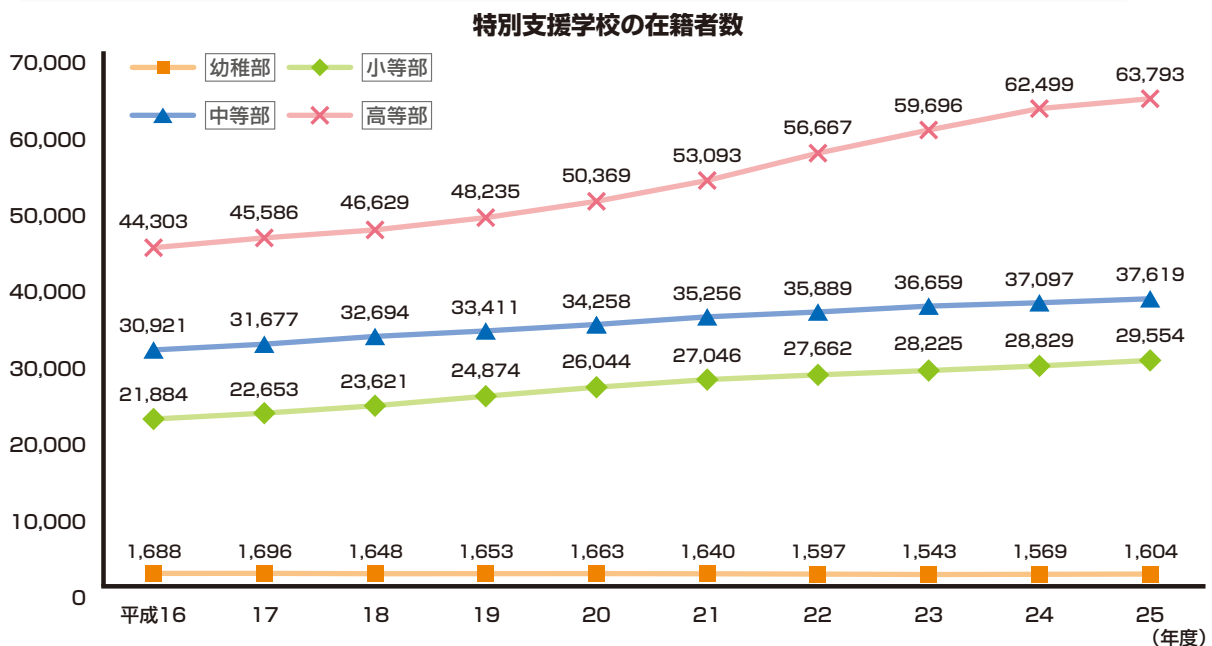


※1 LD(Learning Disabilities):学習障害、ADHD(Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder):注意欠陥多動性障害
※2 この数値は、平成24年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものではない。
(※2を除く数値は平成25年5月1日現在) 文部科学省ホームページ「特別支援教育について」より

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

特別支援教育の現状①～特別支援学校の現状(平成25年5月1日現在)～



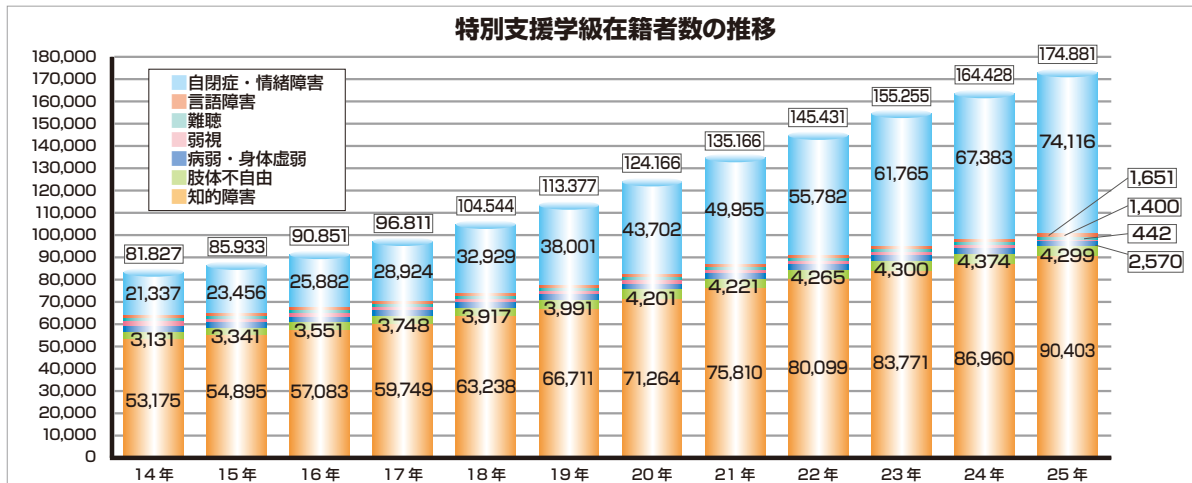
出典:平成25年度 特別支援教育に関する調査について

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

* 8

特別支援教育の現状② ～特別支援学級の現状(平成25年5月1日)～

特別支援学級は、障害のある子供のために小・中学校に障害の種別ごとに置かれる少人数の学級(8人を上限)であり、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害の学級がある。



	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	自閉症・情緒障害	計
学級数	23,912	2,706	1,488	365	888	562	19,822	49,743
在籍者数	90,403	4,299	2,570	442	1,400	1,651	74,116	174,881

文部科学省:平成25年度「特別支援教育に関する調査」

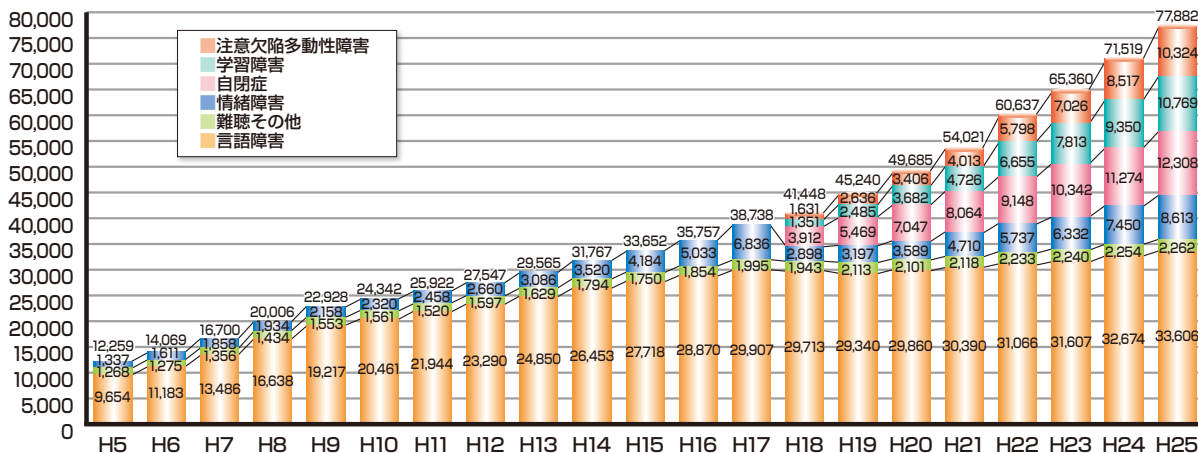
1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

* 8

特別支援教育の現状③ ～通級による指導の現状(平成25年5月1日)～

通級による指導は、小・中学校の通常の学級に在籍している障害のある子供がほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を特別な場(通級指導教室)で受ける指導形態である。通級の対象は、言語障害、自閉症、情緒障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、弱視、難聴などである。

通級による指導を受けている児童生徒数の推移(公立小・中学校合計)



※各年度5月1日現在

※「難聴その他」は難聴、弱視、肢体不自由及び病弱・身体虚弱の合計

※「難聴その他」及び「学習障害」は、平成18年度から新たに通級指導の対象として学校教育法施行規則に規定

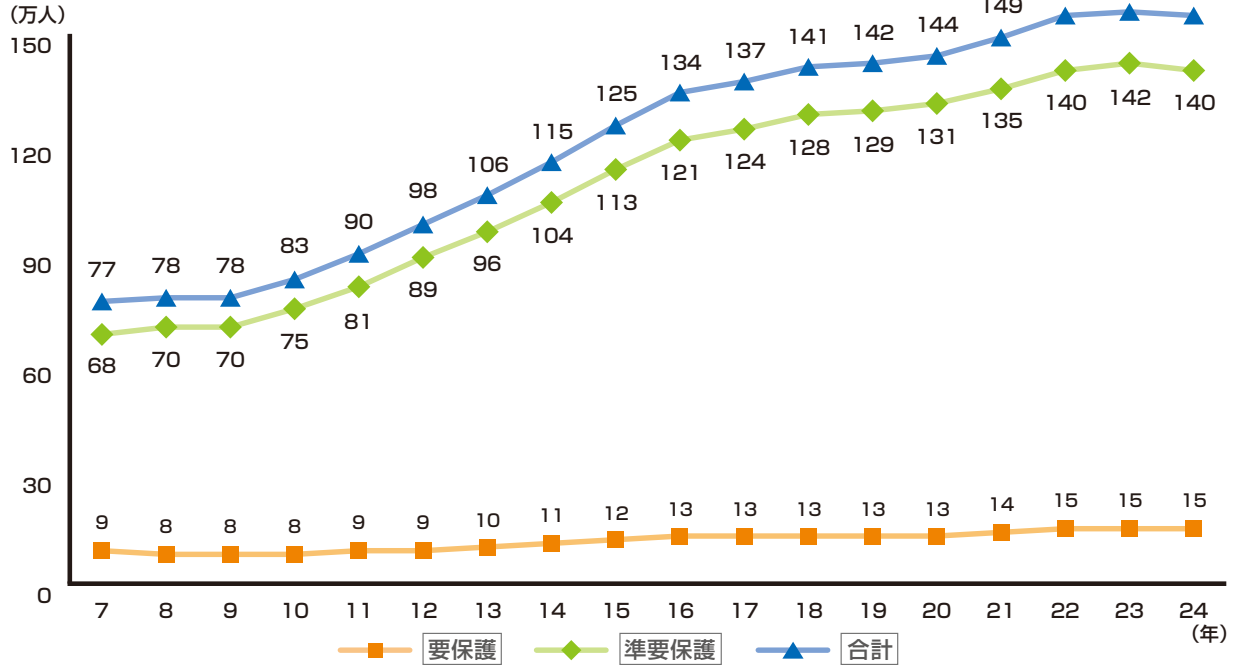
(併せて「自閉症」も平成18年度から対象として明示・平成17年度以前は主に「情緒障害」の通級指導教室にて対応)

文部科学省:平成25年度「通級による指導実施状況調査」(平成25年5月1日調査)

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

要保護及び準要保護児童生徒数の推移

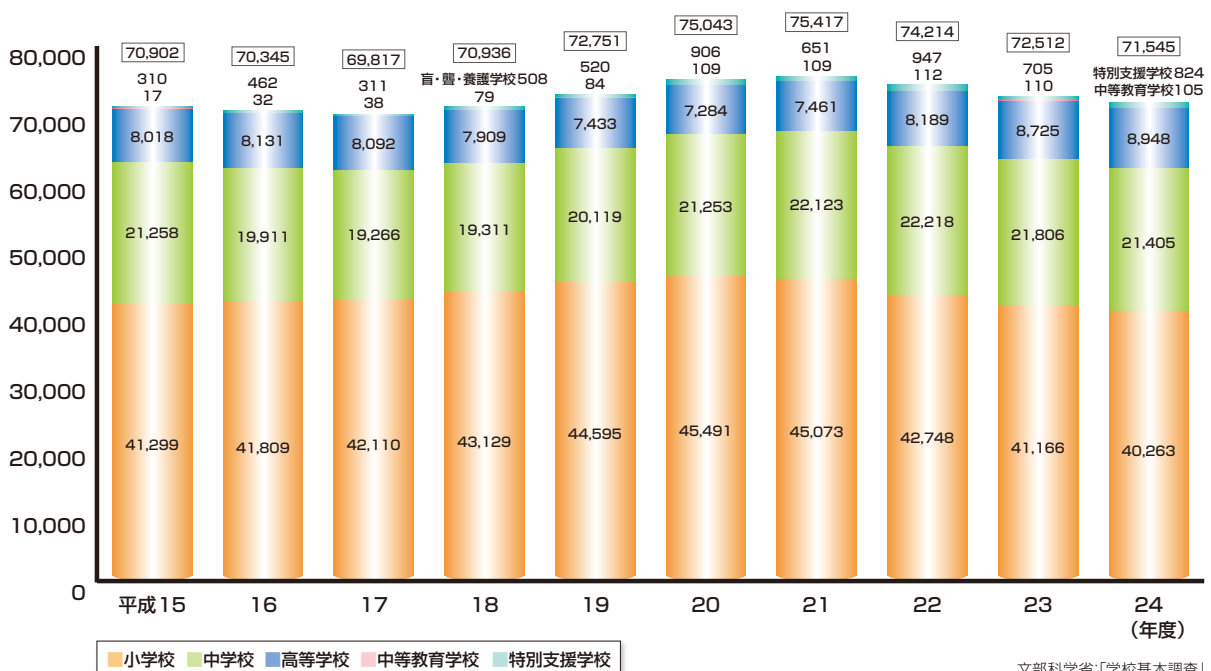


文部科学省:要保護及び準要保護児童生徒数について(平成24年度)

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

公立学校に在籍している外国人児童生徒数(平成24年5月1日現在)

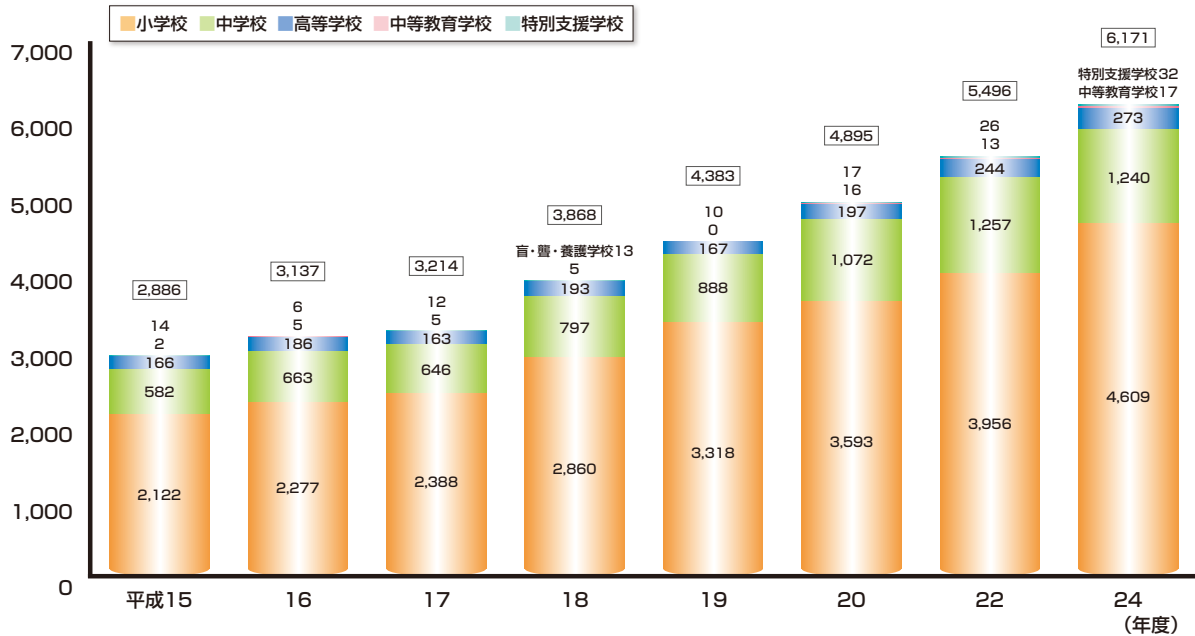


文部科学省:「学校基本調査」

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数(平成24年5月1日現在)

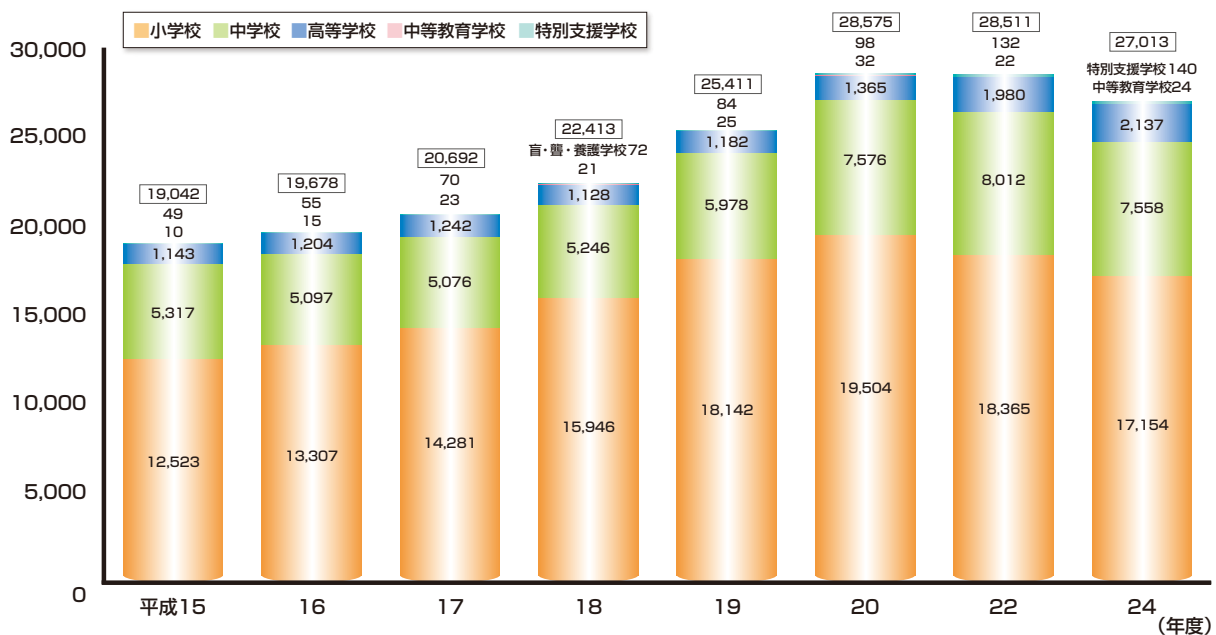


文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入れ状況等に関する調査(平成24年度)」

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

日本語指導が必要な外国人児童生徒数(平成24年5月1日現在)



文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入れ状況等に関する調査(平成24年度)」

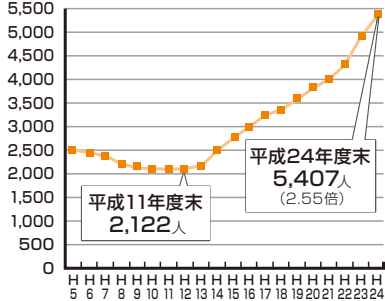
1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

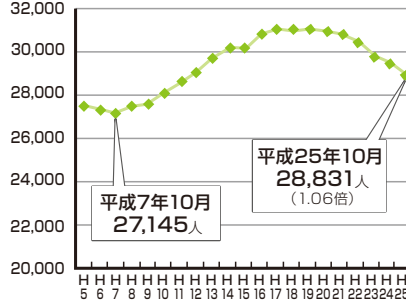
要保護児童の増加

要保護児童数の増加に伴い、ここ十数年で、里親等委託児童数は約2.6倍、児童養護施設の入所児童数は約1割増、乳児院が約2割増となっている。

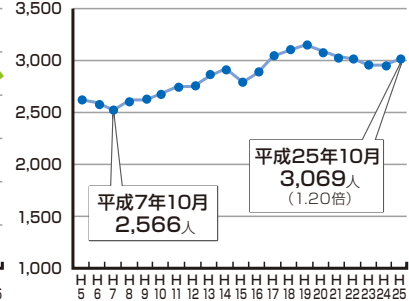
●里親・ファミリーホームへの委託児童数



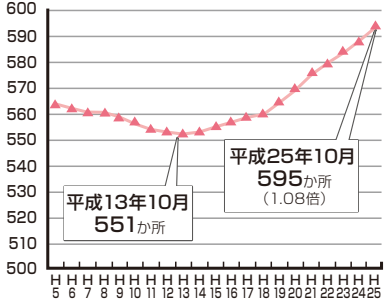
●児童養護施設の入所児童数



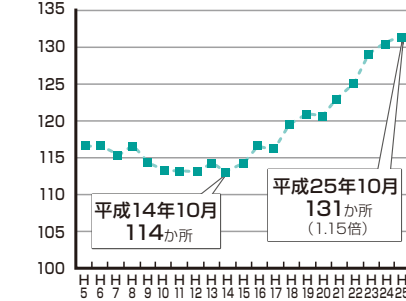
●乳児院の入所児童数



●児童養護施設の設置数



●乳児院の設置数



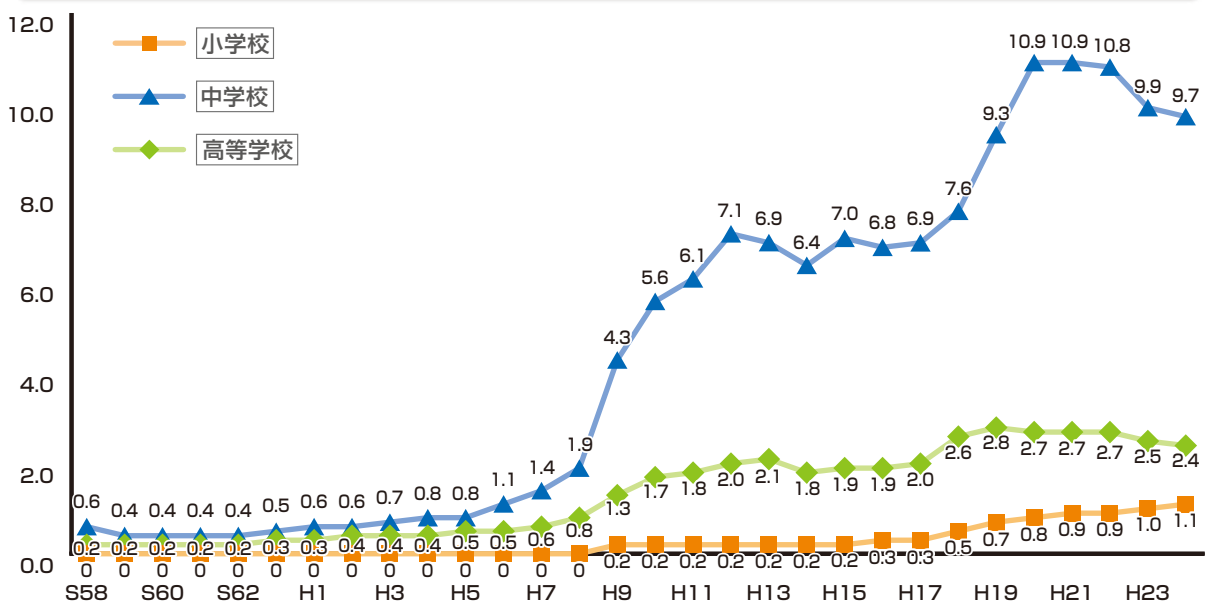
(注)児童養護施設・乳児院については各年度10月1日現在(社会福祉施設等調査、平成21年度以降は家庭福祉課調べ)里親・ファミリーホームについては、各年度3月末現在(福祉行政報告例)

厚生労働省HP「社会的養護の現状について(参考資料)平成26年3月より

1-2 子供たちの教育環境をめぐる現状

*8

学校内における暴力行為発生率の推移(1,000人当たりの暴力行為発生件数)



(注1)平成8年度までは、公立中・高等学校を対象として、「校内暴力」の状況について調査している。

(注2)平成9年度からは調査方法を改めている。

(注3)平成9年度からは公立小学校、平成18年度からは国私立学校も調査。また、中学校には中等教育学校前期課程を含める。

出典:平成24年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について

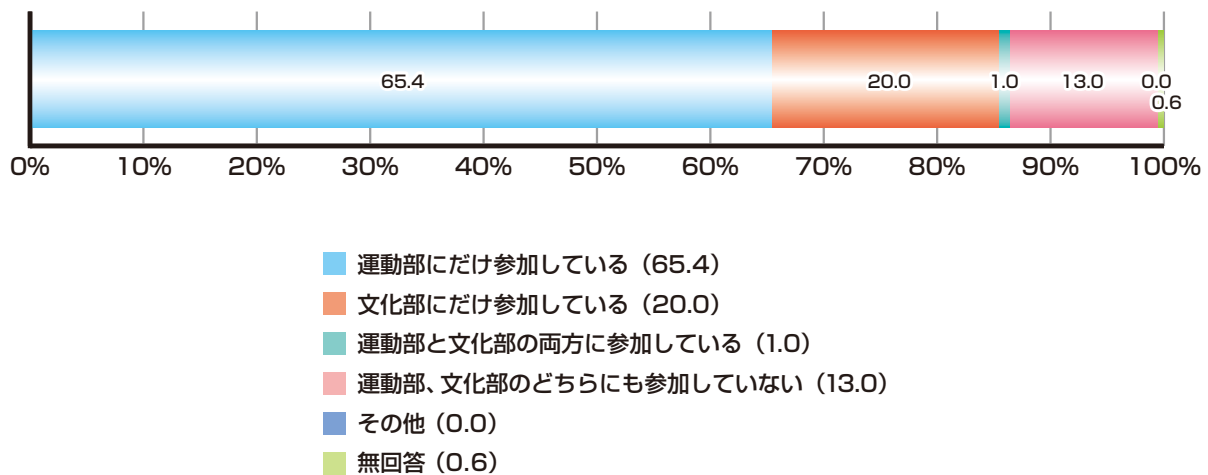
IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実 *32

中高生の放課後について①

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

中学校

学校の部活動に参加していますか



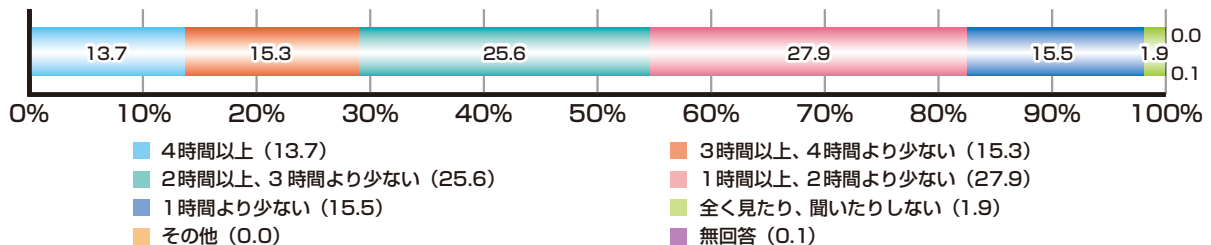
IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実 *32

中高生の放課後について②

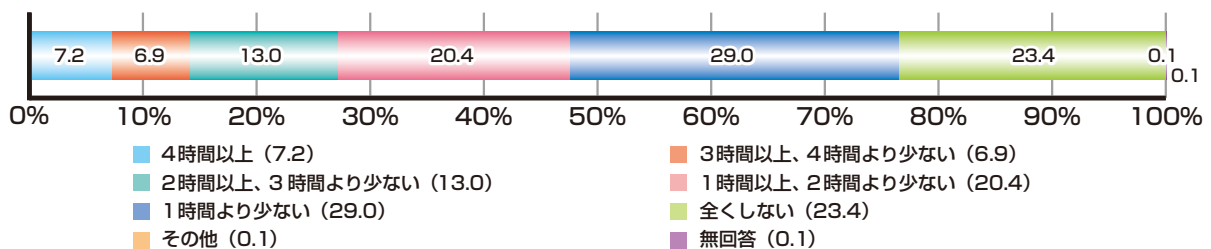
(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

中学校

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)



普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む)をしますか



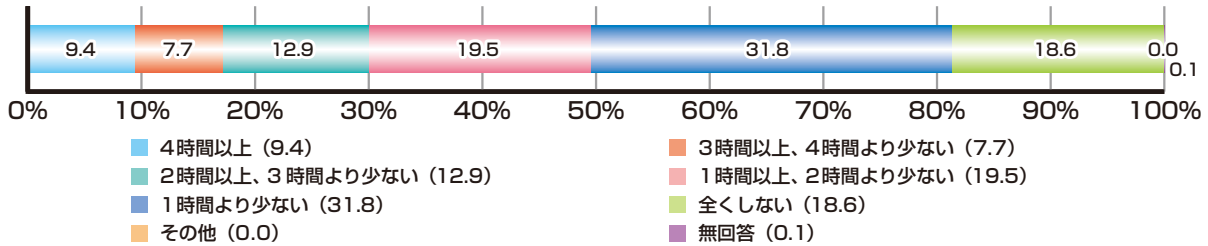
IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実 *32

中高生の放課後について③

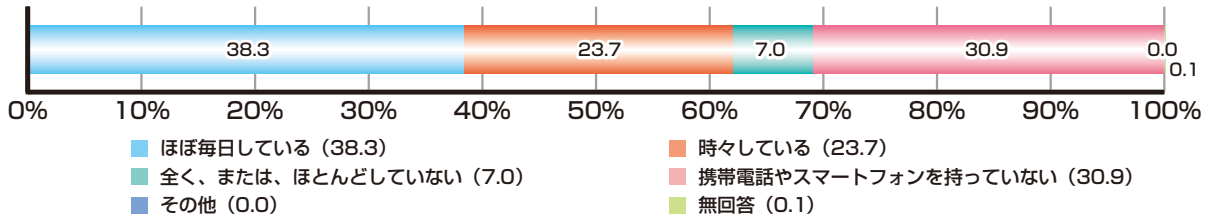
(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

中学校

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)をしますか



携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか



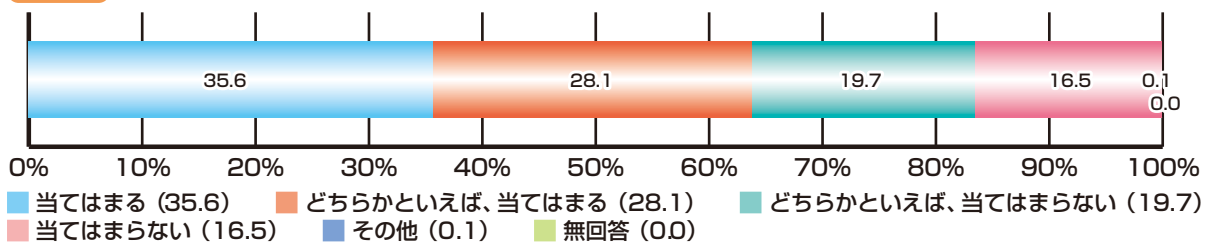
IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実 *32

小・中高生の放課後について④

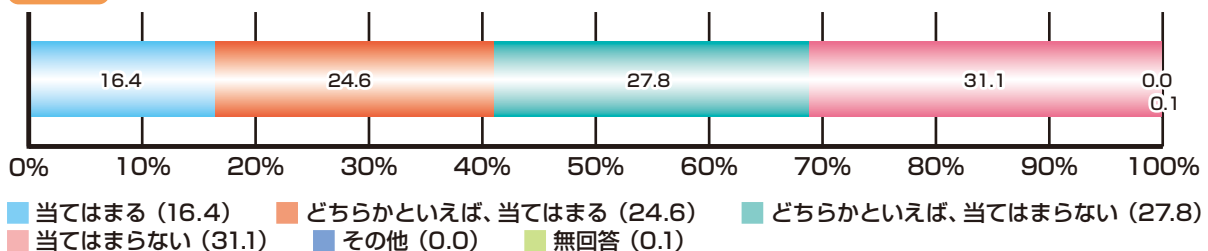
(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

今住んでいる地域の行事に参加していますか

小学校



中学校



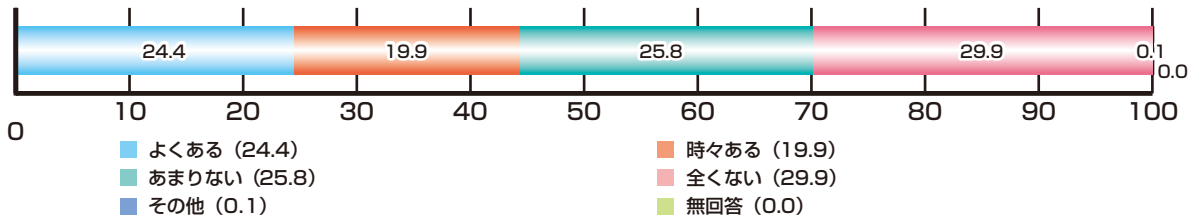
IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実 *32

小・中高生の放課後について⑤-1

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

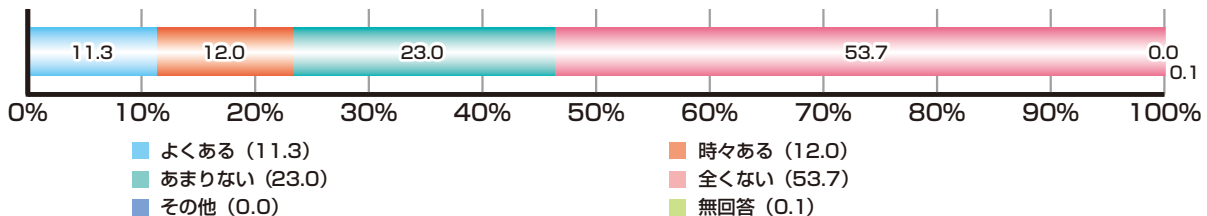
小学校

地域の大人(学校や塾・習い事の先生除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか



中学校

地域の大人(学校や塾・習い事の先生除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか



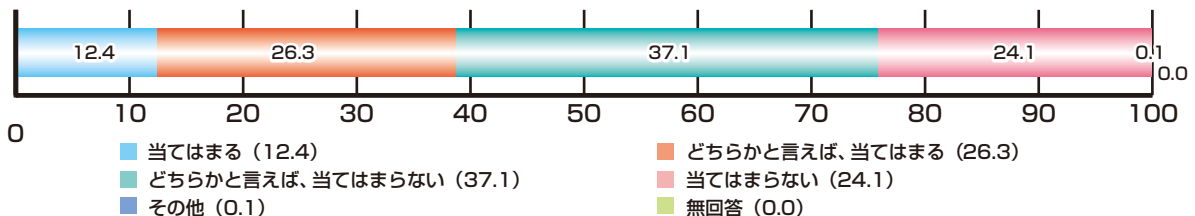
IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実 *32

小・中高生の放課後について⑤-2

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

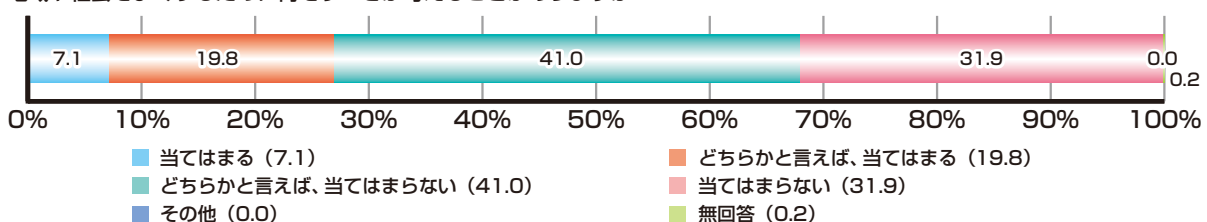
小学校

地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



中学校

地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実

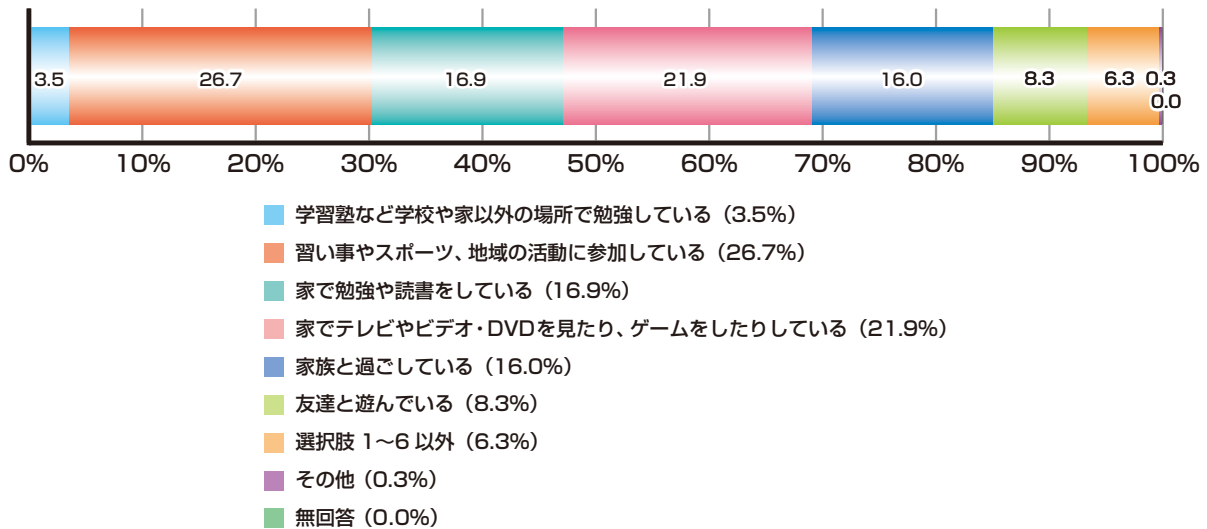
*44

児童生徒の土曜日の過ごし方について①

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

小学校

土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか



IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実

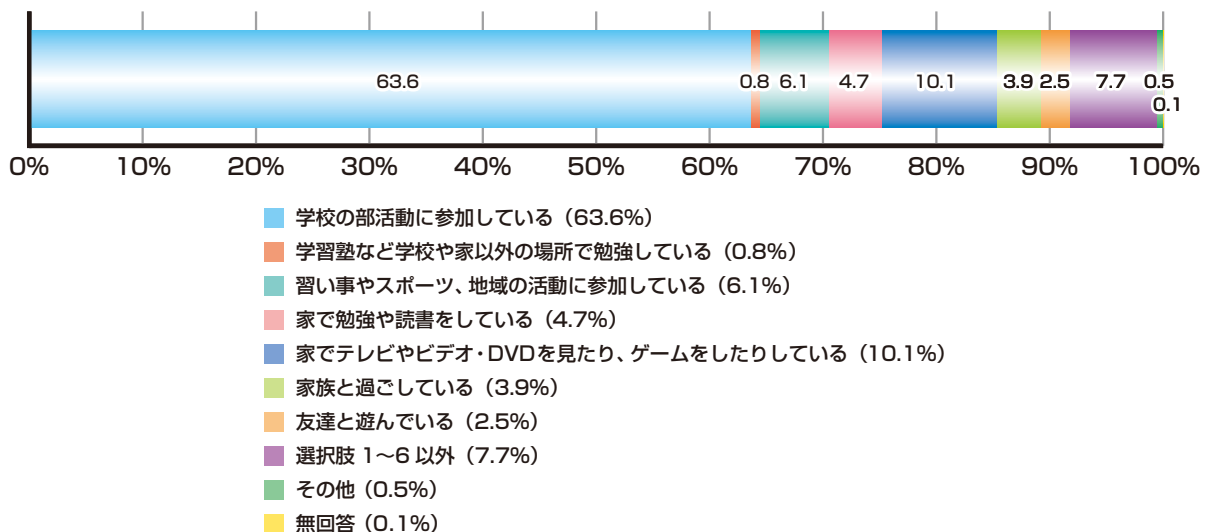
*44

児童生徒の土曜日の過ごし方について②

(平成25年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

中学校

土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか



IV-3 教育と福祉の連携促進による放課後等の支援の充実

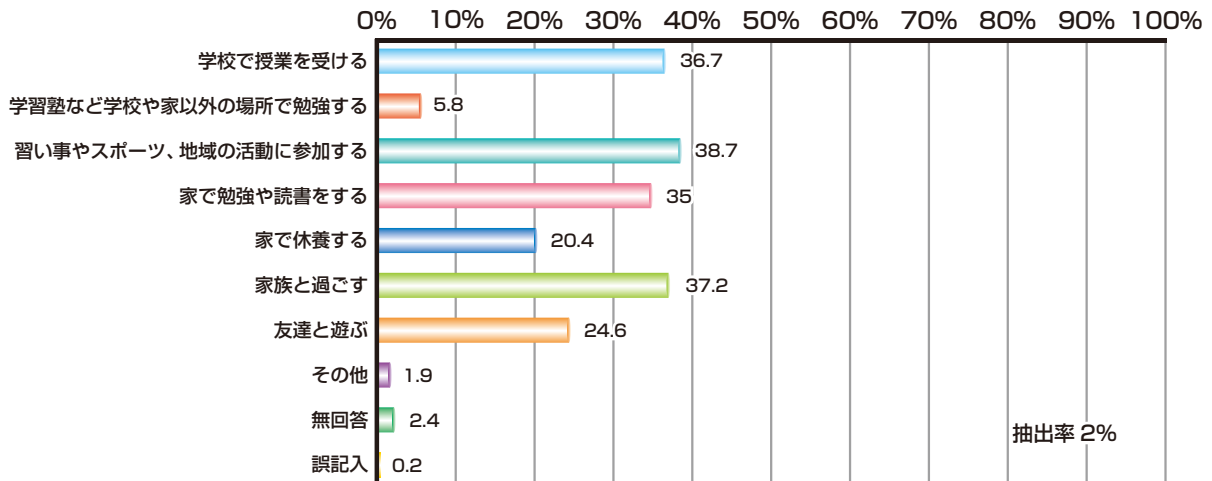
*44

児童生徒の土曜日の過ごし方について③

(平成25年度全国学力・学習状況調査 保護者に対する調査より)

小学校

お子さんに、土曜日にどのような過ごし方をしてほしいと思いますか(午前)(複数回答)



V-3 土曜日の豊かな教育環境の実現に向けた具体的方策

*44

児童生徒の土曜日の過ごし方について④

(平成25年度全国学力・学習状況調査 保護者に対する調査より)

中学校

お子さんに、土曜日にどのような過ごし方をしてほしいと思いますか(午前)(複数回答)

